

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 153-2264
 住 所 東京都目黒区下目黒1-8-1
 氏 名 アマゾンジャパン合同会社

代表社員 Amazon Overseas Holdings, inc.

職務執行者 ジェフリー・ハヤシダ

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	アマゾンジャパン合同会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区北見方 3-14-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業(冷蔵倉庫業を除く)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,797	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2018年度～2020年度 (報告年度 2020年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,485 (調) 3,399 t-CO ₂	(実) 4,594 (調) 4,481 t-CO ₂	(実) 4,969 (調) 4,847 t-CO ₂	(実) 5,286 (調) 5,155 t-CO ₂	(実) 3,415 t-CO ₂
削減率		(実) -31.8 (調) -31.8 %	(実) -42.6 (調) -42.6 %	(実) -51.7 (調) -51.7 %	(実) 2.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t CO ₂ /百万個	
	基準年度	第1年度		第2年度	第3年度
排出量 原単位等の値	56.4300	68.8700	49.7800	49.8600	48.3500
削減率		-22.0 %	11.8 %	11.6 %	14.3 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	2018年10月より二期棟の増築に伴い空調機およびマテハン等の主要設備が稼働したため、排出量は大幅に増加した。また、立上げ期間の為キャパシティの50%程度の出荷数となり、原単位は悪化した。2019年以降、二期棟の生産性向上に伴い計画値を達成する計画となる。
第2年度	2017年-2020年度計画に則りエネルギー運用管理を実施しながら二期棟の出荷量を今年は最大化したため排出量は増加したが、原単位は11.8%削減できた。
第3年度	2020年度はCOVID-19の影響を受け、2020年度のエネルギー原単位は49.86となり、計画年度に対して-11.6%の削減を行ったが、目標の48.35には未達となった。新型コロナウイルスの影響によりマスク着用での作業が求められ、その中で熱中症対策で空調負荷を高めた結果、出荷数の増加以上に電力消費量が増えた事が未達要因となる。2021年度以降においても新型コロナウイルスの影響による空調負荷の上振れは継続する見込みであるが、照明機器のLED化や空調機に静電気除去シートを施工し空調機の消費電力を抑え目標を達成する計画としている。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	○空調設備の適正管理を実施する 空調設定温度基準を設け毎日複数回外気温および室温をモニターする事により空調設備の消費電力量を削減する。
	第1年度	空調設定基準に基づく、空調温度管理を実施 一日2時間のオペレーション停止時間に一部空調機停止
	第2年度	空調設定基準に基づく、空調温度管理を実施、一日2時間のオペレーション停止時間に一部空調機停止など継続実施した。
	第3年度	空調設定基準に基づく、空調温度管理を実施、一日2時間のオペレーション停止時間に一部空調機停止など継続実施した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,970	t-CO ₂
(調)	4,807	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎フルフィルメントセンター	川崎市高津区北見方 3-14-1	4711	倉庫業	4,970 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--